

## 目 次

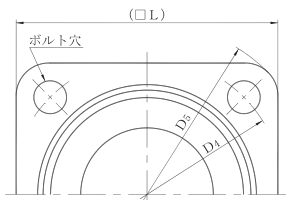
NS形 ダクタイル鋳鉄管 (E種管)		頁
表 12	NS形 ダクタイル鋳鉄管 (E種管) .....	420
表 13	NS形 ダクタイル鋳鉄異形管 (E種管) (1) .....	422
表 13	NS形 ダクタイル鋳鉄異形管 (E種管) (2) (継ぎ輪用) .....	424
表 14	NS形 二受T字管 (E種管) .....	426
表 15	NS形 両受片落管 (E種管) .....	427
表 16	NS形 曲管 90° (E種管) .....	428
表 17	NS形 曲管 45° (E種管) .....	429
表 18	NS形 曲管 $22\frac{1}{2}^{\circ}$ (E種管) .....	430
表 19	NS形 曲管 $11\frac{1}{4}^{\circ}$ (E種管) .....	431
表 20	NS形 曲管 $5\frac{5}{8}^{\circ}$ (E種管) .....	432
表 21	NS形 両受曲管 45° (E種管) .....	433
表 22	NS形 両受曲管 $22\frac{1}{2}^{\circ}$ (E種管) .....	434
表 23	NS形 浅層埋設形フランジ付きT字管 (E種管) (空気弁用・消火栓用) .....	435
表 24	NS形 受挿し短管 (E種管) .....	436
表 25	NS形 継ぎ輪 (E種管) .....	437
表 26	NS形 帽 (E種管) .....	438
<b>NS形 (E種管) 接合部品</b>		
表 A.9	NS形 押輪 (E種管) .....	440
表 A.10	NS形 N-Link (E種管) .....	441
表 A.11	NS形 ロックリング (直管用、継ぎ輪用) (E種管) .....	442
	(呼び径 150)	
表 A.12	NS形 ロックリング (異形管用) (E種管) .....	443
表 A.13	NS形 ライナ (E種管) (呼び径 100) .....	444
表 A.14	NS形 T頭ボルト・ナット (E種管) .....	445
表 A.15	NS形 ゴム輪 (直管用) (E種管) .....	446
表 A.16	NS形 ゴム輪 (異形管用) (E種管) .....	447
表 A.17	NS形 樹脂リング (異形管用) (E種管) .....	448
表 A.18	NS形 ライナボード (E種管) (呼び径 100) .....	449

**編集注記** 呼び径 75 及び 100 ロックリング (直管用、継ぎ輪用)、呼び径 75 及び 150 のライナ及びライナボード、並びに呼び径 75 ~ 150 のロックリングホルダは、JDPA G 1049 の附属書 A の GX 形ロックリング、ライナ、ロックリングホルダ及びライナボードを用いる。

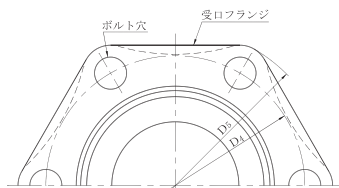
**NS**  
(E種管)

表 13 - NS 形 ダクマイル

呼び径 75・100



呼び径 150

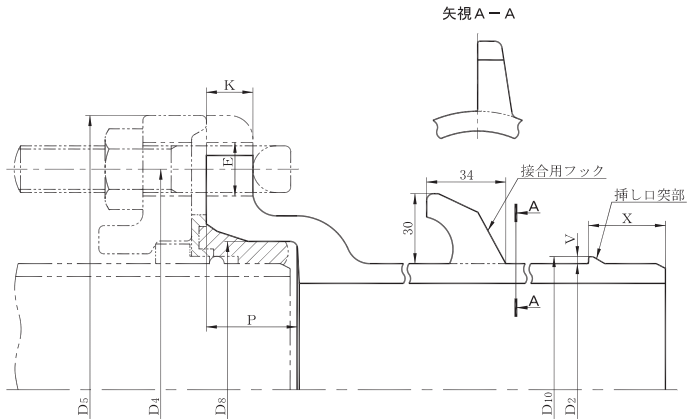


呼び径	外径	各 部 寸					
D	D <sub>2</sub>	D <sub>4</sub>	D <sub>5</sub>	D <sub>8</sub>	D <sub>10</sub>	K	P
75	93	159	197	112	98	18	39
100	118	186	232	137	124	19	39
150	169	250	296	188	175	20	39

注記 1 ボルト穴の配置は、管のすべての軸線を水平にした場合に、その受口面の垂直 T 字管は、水平中心線に対し円周等分に振り分ける。

注記 2 接合用フックは、曲管（表 16～表 20）の挿し口側の管体部に設ける。この場合、の 1 箇所とし、厚さ方向のいずれかの面が水平面上に接するようにする。

注記 3 呼び径 150 の受口フランジは、破線の形状でもよい。

鑄鉄異形管 (E 種管) (1) 


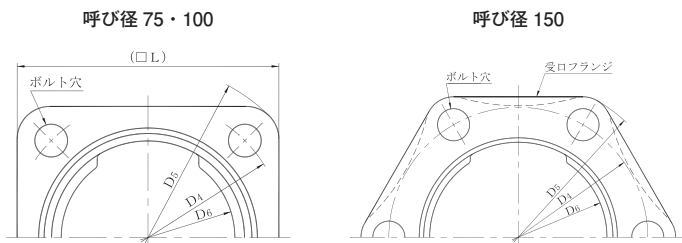
単位 mm

 NS  
 (E種管)

法			ボルト穴		質量 (kg)			呼び径
V	X	(□L)	E	数	受口 突部	挿し口 突部	接合用 フック	D
2.5	33	152	19	4	2.83	0.02	0.06	75
3.0	33	178	23	4	3.57	0.03	0.06	100
3.0	33	—	23	6	6.42	0.04	0.06	150

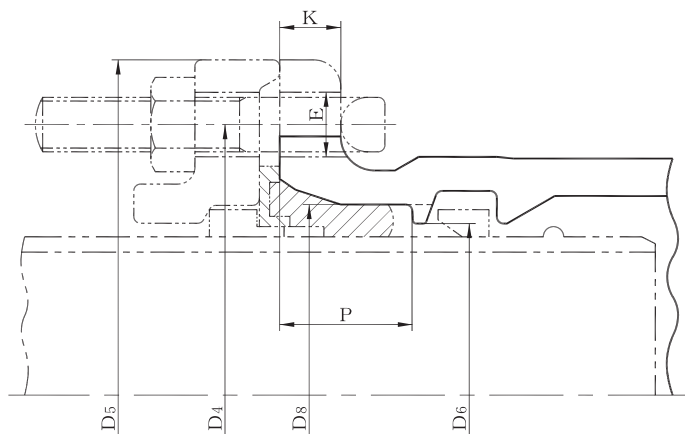
中心線に対し円周等分に振り分ける。ただし、二受T字管及び浅層埋設形フランジ付き  
 接合用フックの配置は、管のすべての軸線を水平にした場合の水平面上の曲がりの外側

表 13 - NS 形 ダクタイト  
(継ぎ輪用)



呼び径	各 部 寸			
D	D <sub>4</sub>	D <sub>5</sub>	D <sub>6</sub>	D <sub>8</sub>
75	159	197	100.8	112
100	186	232	126.8	137
150	250	296	177.8	188

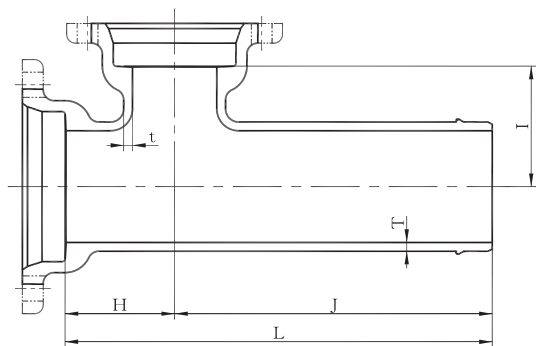
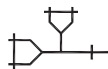
注記 1 D<sub>6</sub> 寸法部の切欠きは、円周上 1 箇所とする。  
 注記 2 呼び径 150 の受口フランジは、破線の形状でもよい。

鑄鉄異形管 (E 種管) (2) 

 NS  
 (E種管)

単位 mm

法			ボルト穴		呼び径
K	P	(□L)	E	数	D
18	39	152	19	4	75
19	39	178	23	4	100
20	39	—	23	6	150

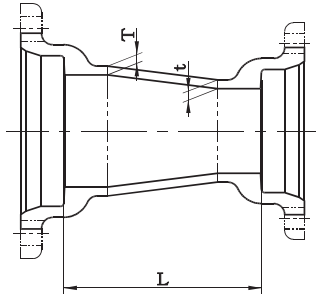
表 14 - NS 形 二受 T 字管 (E 種管)



単位 mm

呼び径		管厚		各部寸法				質量 (kg)
D	d	T	t	H	I	J	L	
75	75	8.0	8.0	120	100	290	410	12.6
100	75	8.0	8.0	120	110	290	410	15.2
100	100	8.0	8.0	140	110	310	450	16.9
150	75	8.5	8.0	140	155	290	430	23.3
150	100	8.5	8.0	160	155	310	470	25.5
150	150	8.5	8.5	190	160	310	500	30.0

表 15 - NS 形 両受片落管 (E 種管)

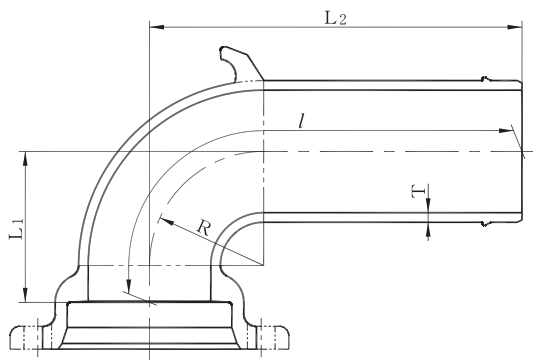


NS  
(E種管)

単位 mm

呼び径		管厚		有効長	質量 (kg)
D	d	T	t	L	
100	75	8.0	8	180	9.55
150	100	8.5	8	180	14.5

表 16 - NS 形 曲管 90° (E 種管)

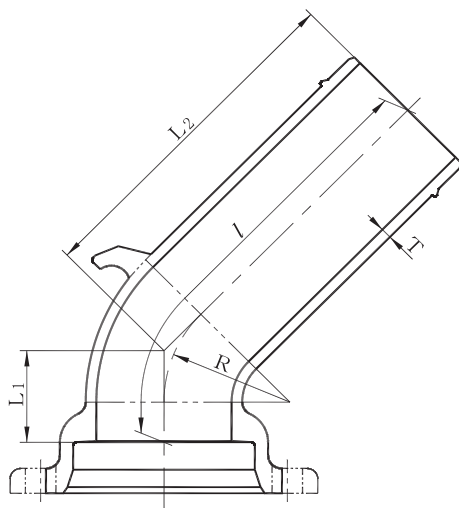


単位 mm

呼び径 D	管厚 T	各部寸法			管心長	質量 (kg)
		R	L1	L2	<i>l</i>	
75	8.0	70	100	290	360	8.41
100	8.0	95	130	310	399	11.6
150	8.5	145	180	380	498	21.8

注記 表 13 (1) に示す接合用フックを 1 箇所にする。

表 17 - NS 形 曲管 45° (E 種管)

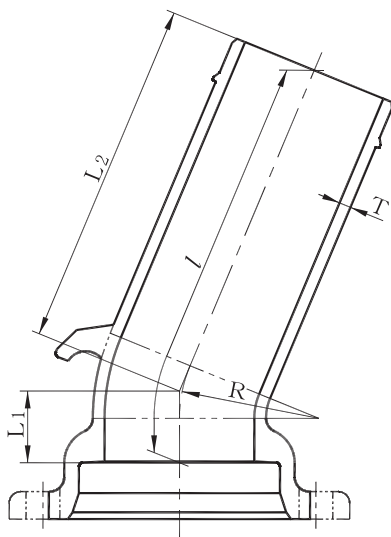
NS  
(E種管)

単位 mm

呼び径 D	管厚 T	各部寸法			管心長 <i>l</i>	質量 (kg)
		R	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>		
75	8.0	70	60	250	307	7.60
100	8.0	95	70	260	326	10.1
150	8.5	145	100	290	384	18.3

注記 表 13 (1) に示す接合用フックを 1 箇所にする。

表 18 - NS 形 曲管  $22\frac{1}{2}^\circ$  (E 種管)

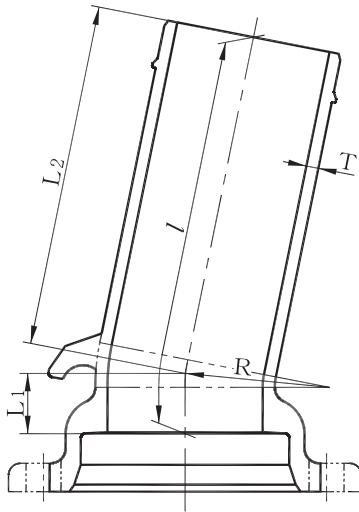


単位 mm

呼び径	管厚	各部寸法			管心長	質量 (kg)
		R	L1	L2	<i>l</i>	
75	8.0	70	50	230	280	7.18
100	8.0	95	50	240	290	9.38
150	8.5	145	70	260	329	16.6

注記 表 13 (1) に示す接合用フックを 1 箇所 to 設ける。

表 19 - NS 形 曲管  $11\frac{1}{4}^\circ$  (E 種管)



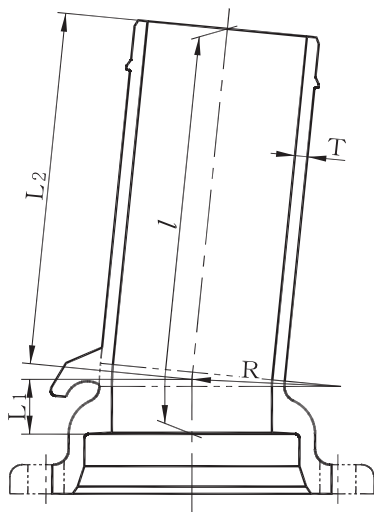
NS  
(E種管)

単位 mm

呼び径	管厚	各部寸法			管心長	質量 (kg)
		R	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	l	
75	8.0	70	40	230	270	7.03
100	8.0	95	40	230	270	9.00
150	8.5	145	50	250	300	15.7

注記 表 13 (1) に示す接合用フックを 1 箇所 to 設ける。

表 20 - NS形 曲管  $5\frac{5}{8}^\circ$  (E種管)

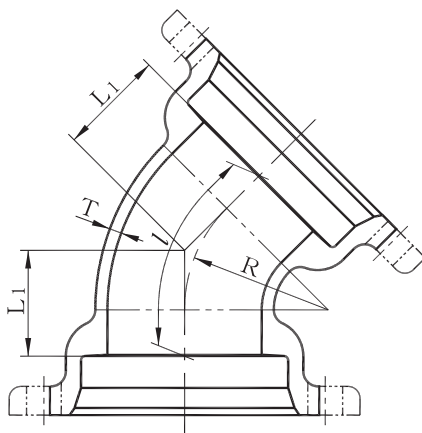


単位 mm

呼び径	管厚	各部寸法			管心長	質量 (kg)
		R	L1	L2	<i>l</i>	
75	8.0	70	40	230	270	7.03
100	8.0	95	40	230	270	9.00
150	8.5	145	40	240	280	15.1

注記 表 13 (1) に示す接合用フックを 1 箇所設ける。

表 21 - NS 形 兩受曲管 45° (E 種管)

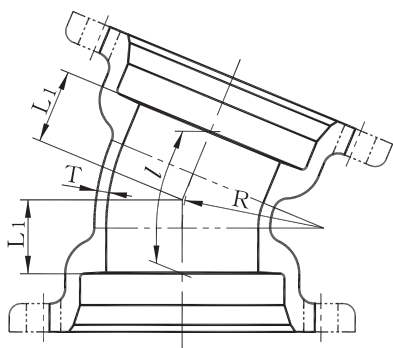


NS  
(E種管)

単位 mm

呼び径	管厚	各部寸法		管心長	質量 (kg)
		R	L <sub>1</sub>	l	
75	8.0	70	60	117	7.45
100	8.0	95	70	136	9.83
150	8.5	145	100	194	18.8

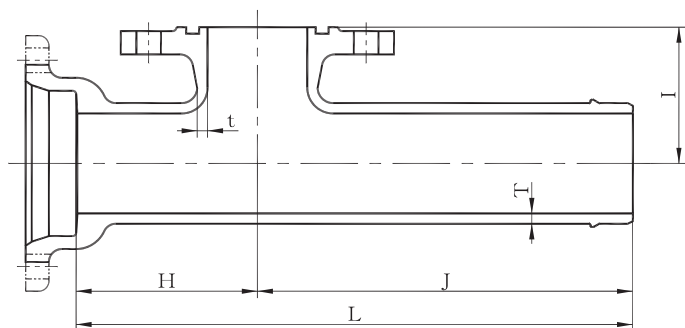
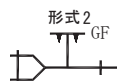
表 22 - NS 形 両受曲管  $22\frac{1}{2}^\circ$  (E 種管)



単位 mm

呼び径	管厚	各部寸法		管心長	質量 (kg)
		R	L <sub>1</sub>		
D	T	R	L <sub>1</sub>	<i>l</i>	
75	8.0	70	50	100	7.18
100	8.0	95	50	100	9.11
150	8.5	145	70	139	17.1

表 23 - NS 形 浅層埋設形フランジ付き T 字管 (E 種管)  
(空気弁用・消火栓用)



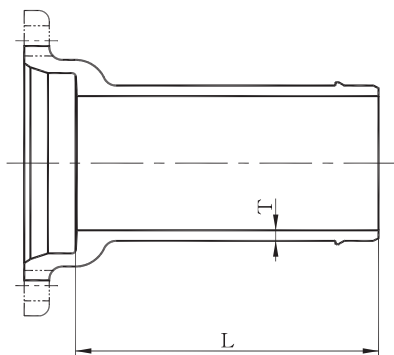
編集注記 フランジの詳細は、JDKA G 3007 の表 2 による。

NS  
(E種管)

単位 mm

呼び径		管厚		各部寸法				質量 (kg)
D	d	T	t	H	I	J	L	
75	75	8.0	8	160	105	290	450	14.2
100	75	8.0	8	160	120	290	450	16.9
150	75	8.5	8	160	170	290	450	25.0

表 24 - NS 形 受挿し短管 (E 種管) 

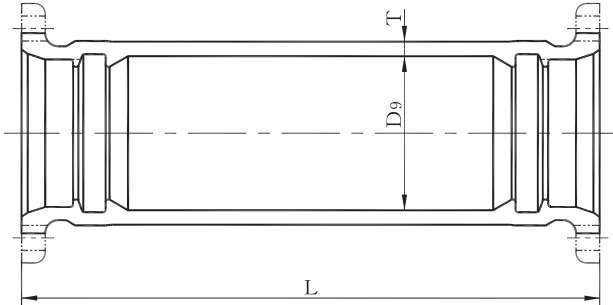


**編集注記** 現地で切管する場合は、669 頁の「現地で切管によって挿し口を形成する場合の適用管種 (管厚)」による。

単位 mm

呼び径	管厚	有効長	質量 (kg)
D	T	L	
75	8.0	240	6.52
100	8.0	260	8.74
150	8.5	285	15.2

表 25 - NS 形 継ぎ輪 (E 種管)



NS  
(E種管)

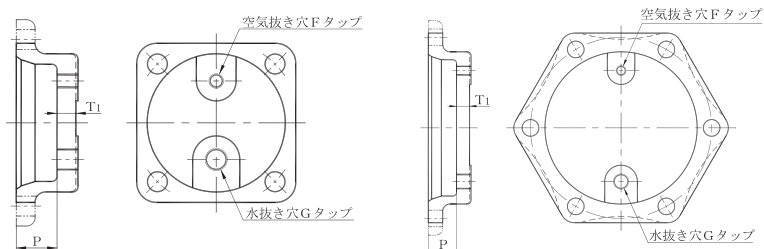
単位 mm

呼び径	管厚	各部寸法		質量 (kg)
		D <sub>9</sub>	L	
75	11	117	440	15.9
100	11	145	470	20.7
150	12	196	490	34.2

表 26 - NS 形 帽 (E 種管) 

呼び径 75・100

呼び径 150

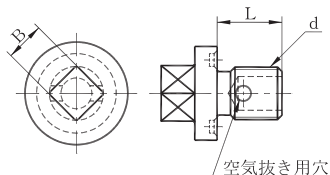


単位 mm

呼び径	各部寸法			タップ穴		質量 (kg)
	D	T1	P	F	G	
75	18	39	G 1/4	G 1/2	3.70	
100	18	39	G 1/4	G 1/2	4.98	
150	18	39	G 1/4	G 1/2	9.28	

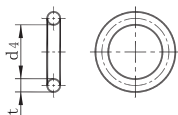
注記 1 この帽の最大使用静水圧は、0.75MPa とする。  
 注記 2 G の記号は、JIS B 0202 の管用平行ねじとする。  
 なお、帽には、シーリングをセットした空気抜き用及び水抜き用ボルトを取り付ける。

空気抜き用及び水抜き用ボルト (SUS304)



単位 mm

シーリング



空気抜き用及び水抜き用ボルト			シーリング	
ねじの呼び	各部寸法		各部寸法	
	d	B	t	d4
G 1/4	12	21	5	19
G 1/2	14	22	5	21

注記 シーリングの材質は、SBR とし、デュロメータ硬さは HA70、引張強さ 18MPa 以上とする。

NS  
(E種管)